

(2025 年度) 環境マネジメント活動計画書

2025.04.01

環境マネジメントチーム

1 環境方針

『安全、品質、環境に関する基本方針』に基づき環境マネジメント活動計画書を作成する。

安全、品質、環境に関する基本方針
当社は、持続的に発展して行ける社会を目指し、安全で高品質な製品を開発、生産、供給して行く為に、お客様重視の製品・サービスの提供と、環境に配慮し、法令を遵守した事業活動を進めてまいります。

- ① 安全で安心してご利用いただける製品の開発・生産・供給を行い、お客様のニーズに応えてまいります。
- ② 製品の開発から廃棄に至るまでの中で、環境負荷を低減させる事業活動を行い、環境保護に努めます。
- ③ 法令を遵守して事業活動を実践してまいります。
- ④ お取引先様と共に公正・公平な取引を行い、共存共栄をはかってまいります。
- ⑤ 従業員一人一人の人権を尊重するとともに、安全で安心して働ける職場環境づくりを実践して行きます。
- ⑥ お客様のニーズ、環境保護に継続的にこたえるための継続的改善に努めます。
- ⑦ 安全・品質・環境に関する経営目標を全社および部署別に設定し目標達成に向け取り組んでまいります。
- ⑧ 経営方針を組織内に伝達し、全役職員が一丸となって具体的な活動を推進いたします。

2 環境マネジメントの適用範囲

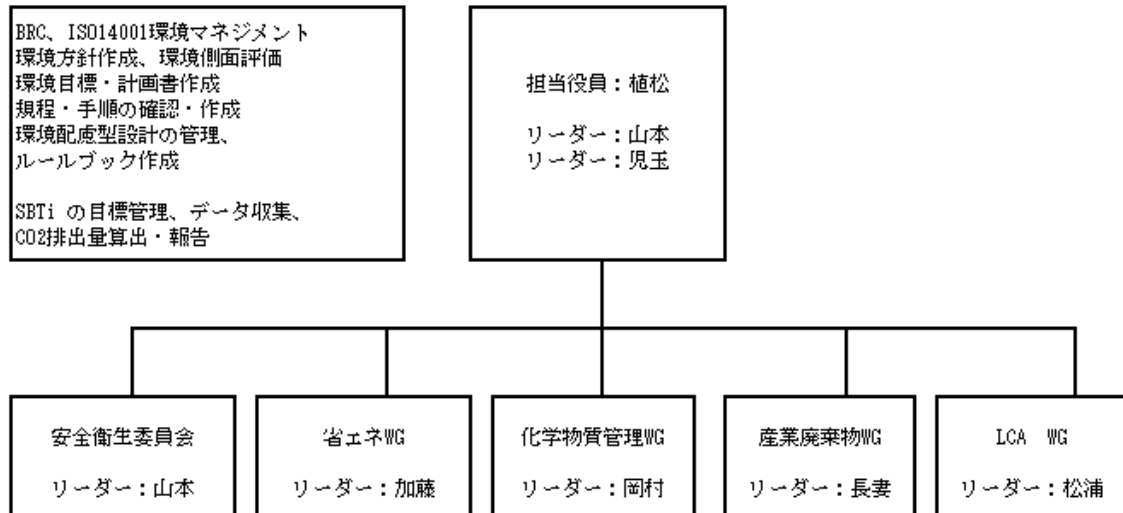
1) 適用範囲

対象組織	株式会社タキガワ・コーポレーション・ジャパン
所在地	千葉県船橋市習志野 4-12-1
適用範囲	プラスチックフィルム製品、ラミネートフィルム製品およびその加工製品の開発、製造、販売並びに委託製造管理。 別紙プロセスマップで定める当社の事業活動により発生する環境影響の全てについて適用する。

3 環境マネジメント活動組織

環境マネジメントを推進するにあたり、環境マネジメントチームを組織し運営にあたる。

◆環境マネジメントチーム



4 環境認識とリスクと機会

1) 外部課題と内部課題のリスクと機会

区分			リスクと機会
外部課題	国際的環境認識	持続可能な開発目標 SDGs	環境破壊 (リスク) 遵守義務 (リスク) コスト削減 (機会)
		海洋プラスチック問題	環境破壊 (リスク) 遵守義務 (リスク)
	日本国内環境認識	プラスチック資源循環戦略	環境破壊 (リスク) 遵守義務 (リスク)
	社会的要求 お客様要求	リサイクル可能なパッケージ開発	環境破壊 (リスク) 品質向上 (機会)
	法的要求	法令遵守	遵守義務 (リスク)
内部課題	製品・サービスの品質向上	お客様満足度の追求	品質向上 (機会)
	コスト競争力の強化	ロス削減(省エネ、廃棄物削減、 化学物質使用量削減)	環境破壊 (リスク) コスト削減 (機会)
	CSR への取組み強化	社会的責任の履行	社会的責任(機会)
	外国人労働者含めた教育 の充実	人材開発	人材育成 (機会)
	法令遵守	法的責任、義務	法令違反 (リスク)

2) 利害関係者とのコミュニケーションとニーズおよびリスクと機会

利害関係者	コミュニケーション	ニーズと期待	リスクと機会
お客様	面談記録（営業日誌） お客様アンケート、工場監査結果、 お客様満足度調査票	ISO14001 が取引条件に	取引制限（リスク）
		カーボンフットプリント情報 の提供要求	取引制限（リスク）
		LCA 考慮した製品開発	ビジネスチャンス（機会）
取引先	面談、メール、アンケート	当社のニーズ開示	CSR 調達（機会）
		当社の CSR 取組み状況開示	CSR 調達（機会）
従業員	会議、研修 面接、掲示、回覧	職場環境の整備（化学物質）	健康被害（リスク）
		教育訓練の充実	人材育成（機会）
地域社会 環境	地元自治会、工業団地組合と の交流、官公庁通達	地域貢献活動	地域貢献（機会）
		法規制の遵守	法令違反（リスク）
		官公庁向け各種報告義務	法令違反（リスク）
株主	レンゴー環境経営推進部、 プラスチック資源循環検討会 との打合せ	環境取組方針の共有	法令違反（リスク）
		廃プラ削減・再利用	ビジネスチャンス（機会）
金融機関	面談、	SDGs への取組推進	SGDs 調達（機会）

3) 環境側面のリスクと機会

		リスクと機会
著しい 環境側面	廃プラスチックの排出量削減	廃棄物排出（リスク） コスト削減（機会）
	廃油排出量の削減	廃棄物排出（リスク） コスト削減（機会）
	化学物質使用量の抑制	大気汚染（リスク） コスト削減（機会）
	エネルギー使用量の削減	エネルギー使用（リスク） コスト削減（機会）
	VOC ガス排出抑制	大気汚染（リスク）
	化学物質漏洩対策	環境破壊（リスク）
有益な 環境側面	RTO による VOC ガス処理	大気汚染対策（機会）
	廃熱回収システム	エネルギー対策（機会）
	太陽光発電	エネルギー対策（機会）

	環境配慮型製品開発	ビジネスチャンス（機会）
--	-----------	--------------

4) 遵守事項のリスクと機会

		リスクと機会
法的要求	各手法規制値の遵守	操業停止、取引停止、 信頼喪失（リスク）
	製品に対する適用法令の遵守	
	官庁向け各種報告書の提出	法令義務、監督指導 （リスク）
	官庁向け各種計画書提出とその実行	

5 環境マネジメントの活動目標と課題の設定

活動組織	取組む対策・活動	目標
全体	各部署のロス削減による環境負荷軽減	2026 年 3 月末前年比削減
省エネ委員会	エネルギー使用量の削減 省エネ法に基づく計画の策定と計画の実行 省エネ設備の適正な稼働の管理と点検の励行	2026 年 3 月年間使用量 電気：495CO ² (k-CO ² eq) ガス：280CO ² (k-CO ² eq) 点検の実施
化学物質管理委員会	化学物質の適正管理 VOC ガスの排出抑制 緊急時漏漏洩対策の実施 ロス削減	点検の実施 VOC 削減計画の策定と提出（酢エチ・混合溶剤） 印刷：17.57%
産業廃棄物委員会	産業廃棄物の排出量削減 産業廃棄物の適正管理 レンゴーG プラ代替え PJ 推進 廃棄物を提出前に、再利用できない状態にする モノマテ品と複合品の分別廃棄方法確立	削減計画の策定と提出 点検の実施 廃プラ原単位 260Kg 以下 廃油原単位 1.34Kg 以下
LCA ワーキンググループ	近年の製造設備や付帯設備の更新に対応した形で環境負荷を評価できるようにする。	電力量と LNG の 原単位の更新
安全衛生委員会	災害対策の策定と対策の準備 緊急時対応訓練の実施	訓練の実施と訓練結果に基づく対応策の改善

以上